





三、九月下旬迄本島ニ上陸セル独立連射砲第三大隊  
及独立機関銃第四大隊ヲ旅団ニ配属スルヲ以テ  
独立ヲ我仁古ニ独機ヲ大謝名ニ位置セシメ旅団担任  
地内主要方面ニ陣地構築ヲ命ズ  
四、十月十日早朝敵艦載機ノ空襲ヲ受ケルモ旅団陣地設備  
陣地終日一旦ノ銃爆撃ヲ受ケタルモ旅団陣地設備  
戦斗資材人員等殆ド損害ヲ受ケズ旅団司令部ハ  
同上日戦斗司令部所定地タル我仁古ニ移動セリ  
五、上陸ヨリ十一月下旬迄概不問地ニ在リテ防衛準備ニ邁  
進スルト共ニ對未作戰ノ研究教育訓練ノ意ヲ注ギ  
防衛ニ感テキヲ期セリ  
六、十二月下旬第九師団(武兵團)本島ヨリ台湾ニ転進ニ伴ヒ  
軍配備変更セシメ師団ハ知念半島首里那霸ヲ合シ  
以北普天間以南地ヲ担任スルニ從ヒ旅団ハ新タニ獨立  
步兵第二七三大隊ヲ配属セラレ那霸ヲ合シ以北普天間  
以南地ヲ担任スルニ從ヒ旅団ハ新タニ獨立步兵第二  
七三大隊ヲ配属セラレ那霸ヲ合シ以西地ヲ担任防衛ノ  
重責ヲ北方及西海岸方面ニ指向シ独立獨機西大隊ノ  
主力ヲ同方面ニ配備シ引續キ陣地ノ構築ニ専心セリ  
七、諸般ノ状況上軍ハ沖繩本島ノ南部地ニ兵力ヲ集結シ同  
方面ノ防衛ヲ完壁ナラシムベク計畫シ二月一日全面的ニ配  
備ノ変更ヲ実施シ旅団防衛地ニ縮小セラルニ伴ヒ旅団  
ハ別紙要因第一ノ如ク配備ヲ変更シ同時ニ独立歩士  
大隊ヲ師団長直轄ニ同三七三大隊ヲ師団ニ復歸セシメ  
八、旅団ハ防衛ノ重責ヲ北方ニ指向シ西海岸方面ニ一部  
監視部隊程度ノモノヲ配置セルニテ專ラ西海岸  
道及宜野湾街道ニ沿フ地ニ防備ヲ堅固ニセリ  
九、此頃ヨリ太平洋方面ノ戦況頗不利トナリ本島又敵

三、九月下旬迄本島ニ上陸セル独立連射砲第三大隊  
及独立機関銃第四大隊ヲ旅団ニ配属スルヲ以テ  
独立ヲ我仁古ニ独機ヲ大謝名ニ位置セシメ旅団担任  
地内主要方面ニ陣地構築ヲ命ズ  
四、十月十日早朝敵艦載機ノ空襲ヲ受ケルモ旅団陣地設備  
陣地終日一旦ノ銃爆撃ヲ受ケタルモ旅団陣地設備  
戦斗資材人員等殆ド損害ヲ受ケズ旅団司令部ハ  
同上日戦斗司令部所定地タル我仁古ニ移動セリ  
五、上陸ヨリ十一月下旬迄概不問地ニ在リテ防衛準備ニ邁  
進スルト共ニ對未作戰ノ研究教育訓練ノ意ヲ注ギ  
防衛ニ感テキヲ期セリ  
六、十二月下旬第九師団(武兵團)本島ヨリ台湾ニ転進ニ伴ヒ  
軍配備変更セシメ師団ハ知念半島首里那霸ヲ合シ  
以北普天間以南地ヲ担任スルニ從ヒ旅団ハ新タニ獨立  
步兵第二七三大隊ヲ配属セラレ那霸ヲ合シ以北普天間  
以南地ヲ担任スルニ從ヒ旅団ハ新タニ獨立步兵第二  
七三大隊ヲ配属セラレ那霸ヲ合シ以西地ヲ担任防衛ノ  
重責ヲ北方及西海岸方面ニ指向シ独立獨機西大隊ノ  
主力ヲ同方面ニ配備シ引續キ陣地ノ構築ニ専心セリ  
七、諸般ノ状況上軍ハ沖繩本島ノ南部地ニ兵力ヲ集結シ同  
方面ノ防衛ヲ完壁ナラシムベク計畫シ二月一日全面的ニ配  
備ノ変更ヲ実施シ旅団防衛地ニ縮小セラルニ伴ヒ旅団  
ハ別紙要因第一ノ如ク配備ヲ変更シ同時ニ独立歩士  
大隊ヲ師団長直轄ニ同三七三大隊ヲ師団ニ復歸セシメ  
八、旅団ハ防衛ノ重責ヲ北方ニ指向シ西海岸方面ニ一部  
監視部隊程度ノモノヲ配置セルニテ專ラ西海岸  
道及宜野湾街道ニ沿フ地ニ防備ヲ堅固ニセリ  
九、此頃ヨリ太平洋方面ノ戦況頗不利トナリ本島又敵



航空力ノ制圧下ニ入り連日ニ百リ敵少數機、偵察或ハ妨害ヲ受ケ本島ニ対シ敵ノ上陸迄キノ感ヲ抱カシメタリ。依リテ旅團ハ各種ノ集合教育ヲ打切り遊休兵力ノ事務其ノ他ニテ無クシ全カク擧ケテ日夜不眠ス休陣地構築ニ努力セリ。然レ其日時少ナク加フルニ陣地構築意ノ如ク進捗セズ概成ニ近キ状態ニテ遂ニ三日下旬敵ヲ迎フルニ至レリ。

### 神繩作戰戰鬥經過ノ概要

其ノ一

一 昭ニ〇三ニ三〇七〇頃南方方面ヨリ敵機ノ數編隊本島上空ニ来襲當初主トシテ飛行場海岸線ニ銃爆撃ヲ開始セリ軍ハ本島ニ甲号銃備ヲ下令旅團ハ直チニ配備ニツキ我々準備ヲ完了ス

- 同日日没ニ至ル迄引續キ敵機ハ攻襲手ヲ及復セリ
- 二 同日朝未再ハ敵機ノ来襲ヲ受ケ更ニ本島一部ニ艦砲射撃ヲ受ケルニ及ビ敵上陸ノ算大ニ至リ各據奥内ニ兵器彈藥糧秣ヲ補充スルト共ニ同日以降主トシテ夜暗ヲ利用主要道路及橋梁ノ破壊陣前主要地帯ニ我々陣地雷ノ埋没陣地ノ補強ヲ實施シ我々準備ヲ強北セリ
- 三 二十五日敵一部慶良間列島ニ上陸開始ス及ビ本島ハ上陸決定的トナリ將兵ノ志氣旺盛民間又之ニ應ジ協カス
- 四 二八九日頃ヨリ空爆撃及艦砲射撃ノ重突ハ港川及喜手納附近主トシテ海岸線ニ指向セラレ月未頃ニ至リ大山一喜手納ニ至ル西海岸ノ掃海ヲ開始シ上陸標示ヲナセリ
- 五 四月一日早朝北谷一喜手納ニ直ル海岸ニ艦船航空機